

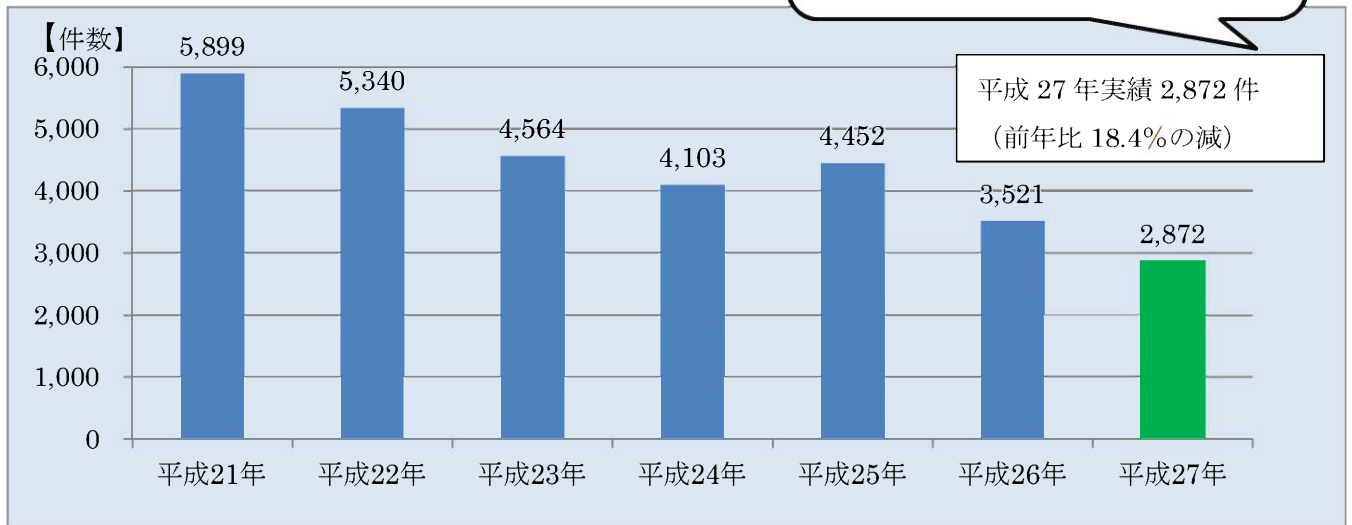
平成 2 8 年度

世界一安心安全・おもてなしのまち京都 市民ぐるみ推進運動の取組について

伏見区では、平成 2 7 年度から「世界一安心安全・おもてなしのまち京都 市民ぐるみ推進運動」に取り組み、区民・事業者の皆様、警察、消防、区役所・支所等が連携し、伏見区版運動プログラム「みんなでつくる安心安全のまち伏見」（平成 2 7 年 3 月策定）に基づいた安心安全のための様々な取組を実施しています。

運動プログラムにおいて目標としている
「区の刑法犯認知件数 2 千件台」を取組の
1 年目で達成

【伏見区の刑法犯認知件数の推移】



平成 2 8 年については、1 月～9 月の刑法犯認知件数 1, 6 8 6 件（暫定値）
(前年同期実績の 2 1 . 6 %減)

【これまでの主な取組、今後実施予定の取組等】

三所共通



○「伏見を美しく！」の取組（環境月間における一斉清掃と連携）（平成 2 8 年 6 月実施）



○ 市民しんぶん伏見区版
への安心安全情報掲載
(実施中)



○ 学区の安心安全ネット
継続応援事業補助金による
地域の防犯活動の支援
(実施中)



○ 京都市防犯カメラ
設置促進事業補助金による
防犯カメラ設置の支援
(実施中)

本所管内



○ 夏休み地域パトロール
(平成 28 年 7 月、8 月実施)



○ 伏見安全・安心まちづくり大会
(平成 28 年 10 月実施)



○ 放火火災予防啓発活動
(平成 28 年 8 月実施)



○ 青色防犯パトロール車による
パトロール (実施中)



○ 安心安全ブロックニュース発行
(平成 28 年 12 月、平成 29 年 3 月発行予定)



○ 防犯 (安心安全) マップ作成
(平成 29 年 3 月発行予定)



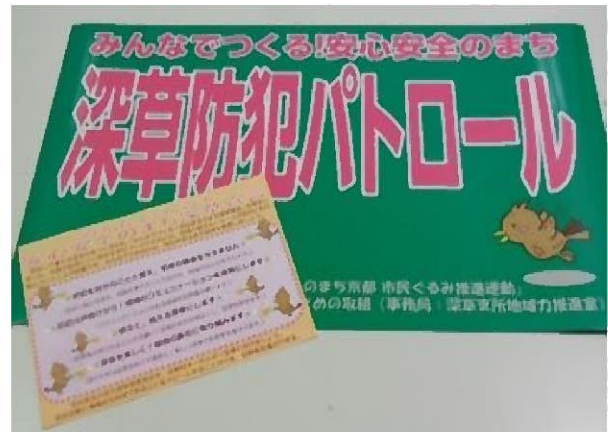
- 学区毎の犯罪発生状況等を記載したチラシ発行
(平成 28 年 9 月, 平成 29 年 3 月発行予定)



- 各大学と連携した防犯啓発活動の実施
(平成 28 年 5 月, 11 月実施)



- 大学における防犯講座の実施
(平成 28 年 4 月実施)



- 安心安全宣言活動の実施
(平成 28 年 12 月実施予定)



- 防犯マップの作成
(平成 29 年 3 月発行予定)



- 観光客向けマナー啓発
(平成 28 年 2 月頃実施予定)



○安心安全おもてなしのまち
醍醐 標語展を開催
(平成 28 年 7 月～10 月実施)



○少年補導委員会での行事
(日野教育キャンプ) での啓発
(平成 28 年 10 月実施)



○防犯推進委員協議会での行事
(全国地域安全運動) での啓発
(平成 28 年 10 月実施)



○ 醍醐安心安全ニュースを年2回発行
(平成 28 年 7 月, 平成 28 年 12 月発行予定)



○ ダイゴ5レンジャー隊
による夜間パトロール (実施中)



○ 醍醐安全フェアの開催
(平成 28 年 11 月実施)

平成28年 伏見区刑法犯認知件数(平成28年9月末、暫定値)

【伏見区】

注:平成28年は暫定値(交通関係は確定値)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	9月末(総数)	前年比
【刑法犯総数】	H27	224	194	239	263	301	243	236	234	216	272	204	246	2,150 (2,872)	-464
	H28	160	158	203	187	214	189	197	182	196				1,686	(-21.6%)
自転車盗	H27	46	50	29	40	59	36	62	63	62	61	54	64	447 (626)	-28
	H28	36	42	55	36	42	43	59	47	59				419	(-6.3%)
【性犯3罪種】	H27	3	0	0	0	3	3	4	3	5	1	4	3	21 (29)	-6
	H28	2	1	1	4	2	1	1	2	1				15	(-28.6%)
強姦	H27	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	2 (4)	±0
	H28	1	0	0	0	1	0	0	0	0				2	(±0.0%)
強制わいせつ	H27	1	0	0	0	2	3	4	3	4	1	4	0	17 (22)	-7
	H28	1	0	0	4	1	1	1	2	0				10	(-41.2%)
公然わいせつ	H27	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2 (3)	+1
	H28	0	1	1	0	0	0	0	0	1				3	(+50.0%)
【自動車関連窃盗】	H27	35	15	52	73	34	40	30	35	28	34	37	24	342 (437)	-117
	H28	19	24	27	40	32	11	29	18	25				225	(-34.2%)
自動車盗	H27	4	1	5	3	0	4	3	7	2	3	4	1	29 (37)	-16
	H28	0	2	0	2	3	2	3	0	1				13	(-55.2%)
車上ねらい	H27	10	5	24	37	21	20	14	13	14	17	12	10	158 (197)	-36
	H28	14	10	16	18	21	3	20	9	11				122	(-22.8%)
部品ねらい	H27	21	9	23	33	13	16	13	15	12	14	21	13	155 (203)	-65
	H28	5	12	11	20	8	6	6	9	13				90	(-41.9%)
【住宅侵入窃盗】	H27	3	6	5	5	7	6	4	5	4	9	3	9	45 (66)	-6
	H28	3	6	1	1	5	10	5	4	4				39	(-13.3%)
空き巣	H27	1	5	4	3	4	5	1	4	4	6	2	6	31 (45)	+1
	H28	3	6	1	1	5	10	2	1	3				32	(+3.2%)
忍込み	H27	1	1	1	1	3	1	3	0	0	1	1	3	11 (16)	-4
	H28	0	0	0	0	0	0	3	3	1				7	(-36.4%)
居空き	H27	1	0	0	1	0	0	0	1	0	2	0	0	3 (5)	-3
	H28	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0	(-100.0%)
オートバイ盗	H27	18	17	25	20	29	20	21	24	20	28	15	27	194 (264)	-42
	H28	17	10	19	15	18	18	18	21	16				152	(-21.6%)
ひったくり	H27	1	1	1	8	4	5	1	3	1	3	0	2	25 (30)	-12
	H28	1	2	1	0	1	1	1	4	2				13	(-48.0%)
自販機ねらい	H27	3	0	3	3	2	2	1	1	3	4	4	1	18 (27)	-5
	H28	2	0	0	0	3	0	1	6	1				13	(-27.8%)
器物損壊等(街頭)	H27	20	20	13	15	29	13	6	16	12	17	11	11	144 (183)	-52
	H28	18	12	10	13	12	9	7	3	8				92	(-36.1%)
万引き	H27	11	13	14	13	14	10	16	11	10	16	9	11	112 (148)	-7
	H28	11	13	12	10	10	21	6	12	10				105	(-6.3%)
置引き	H27	8	2	9	8	11	4	5	9	6	9	6	9	62 (86)	-4
	H28	5	6	7	7	4	9	9	7	4				58	(-6.5%)

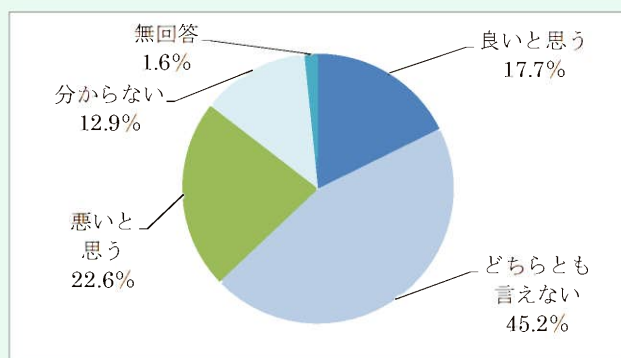
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	9月末(総数)	前年比
交通事故発生件数	H27	79	91	90	82	102	84	68	74	79	80	66	77	749 (972)	-49
	H28	80	74	89	95	68	72	89	72	61				700	(-6.5%)
交通事故死者数	H27	1	0	0	0	4	0	0	1	0	0	0	1	6 (7)	-6
	H28	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0	(-100.0%)
交通事故負傷者数	H27	89	113	111	90	124	109	91	92	86	100	75	93	905 (1,173)	-81
	H28	110	80	103	108	86	82	106	76	73				824	(-9.0%)

「世界一安心安全・おもてなしのまち京都 市民ぐるみ推進運動」 伏見区版運動における安心安全実感調査結果について

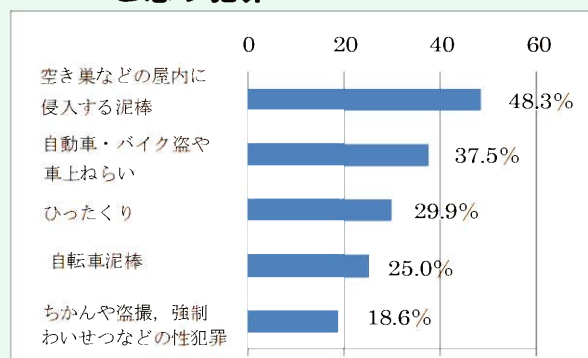
1 調査目的	今後の防犯の取組をより効果的に進めるため、区民の皆様の安心安全に関する実感等をお聞きして、地域における課題等を把握することを目的に実施
2 調査対象	無作為抽出の 18 歳以上の伏見区民 3,000 名
3 調査期間	平成 27 年 12 月 7 日から平成 27 年 12 月 28 日
4 調査方法	郵送による配布・回収
5 有効回答数（回答率）	1,345 通（44.8%）

【主な調査結果】

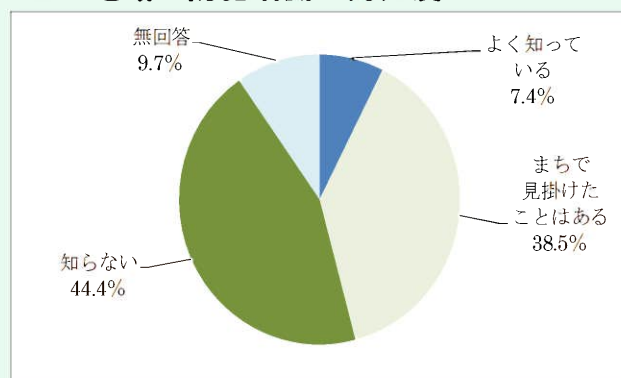
1 伏見区の治安について



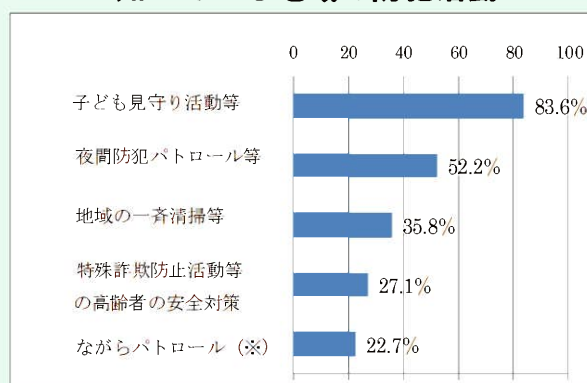
2 巻き込まれるかもしれないと思う犯罪



3 地域の防犯活動の認知度

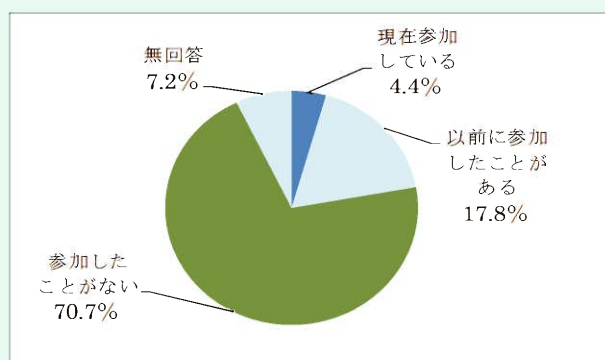


4 知っている地域の防犯活動



※「ながらパトロール」とは、散歩や買い物、通学・通勤のついでに普段の生活を送りながら行う防犯パトロールのこと

5 地域の防犯活動への参加状況



6 防犯活動に参加していない人の参加していない理由



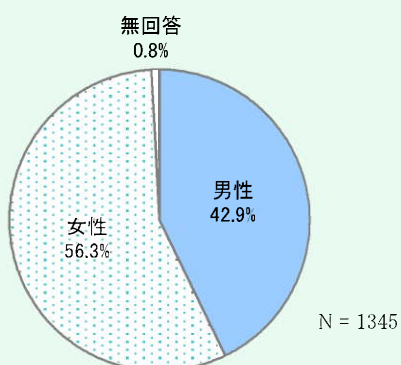
「世界一安心安全・おもてなしのまち京都 市民ぐるみ推進運動」 伏見区版運動における安心安全実感調査 調査報告書（概要版）

I 調査の概要

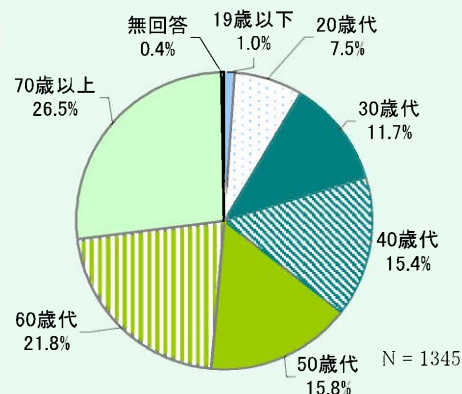
- | | |
|--------------|--|
| ① 調査目的 | この区民意識調査は、「世界一安心安全・おもてなしのまち京都 市民ぐるみ推進運動」の伏見区版運動をより効果的に進めるために、伏見区民の皆様の安心安全に関する実感等をお聞きして、地域における課題等を把握することを目的に実施しました。 |
| ② 調査対象 | 無作為抽出の18歳以上の伏見区民 3,000 名 |
| ③ 調査期間 | 平成 27 年 12 月 7 日から平成 27 年 12 月 28 日 |
| ④ 調査方法 | 郵送による配布・回収 |
| ⑤ 有効回答数（回答率） | 1,345 通（44.8%） |

II 回答者属性

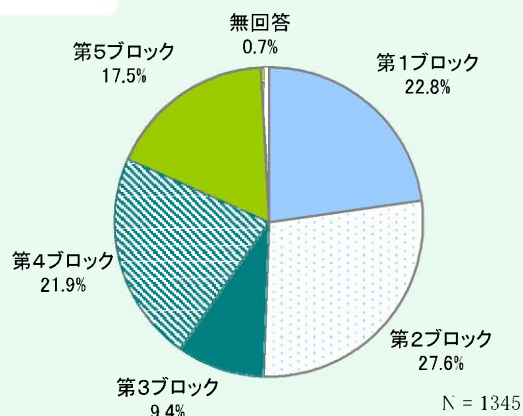
性別



年齢



居住地域



【ブロックを構成する学区】

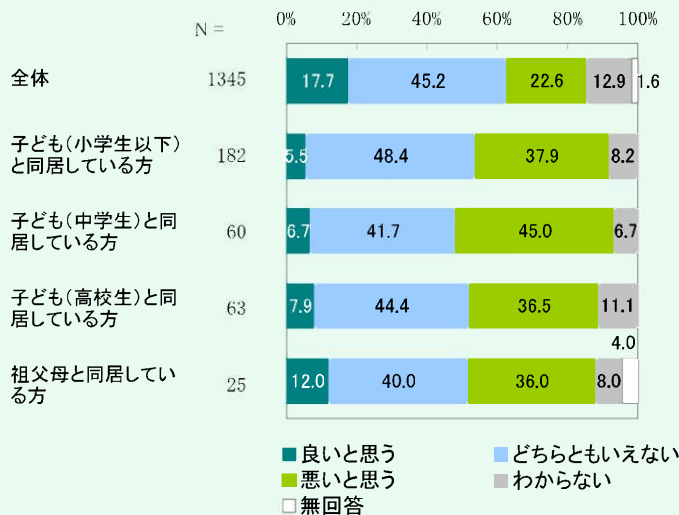
- 第1ブロック（稲荷、砂川、深草、藤森、藤城）
第2ブロック（住吉、板橋、南浜、竹田、桃山、桃山東、桃山南）
第3ブロック（向島、向島南、向島二ノ丸、二の丸北、向島藤ノ木）
第4ブロック（下鳥羽、横大路、納所、神川、羽束師、久我の杜、淀、淀南）
第5ブロック（醍醐、小栗栖、小栗栖宮山、池田、池田東、春日野、日野、石田、醍醐西、北醍醐）

Ⅲ 調査結果について

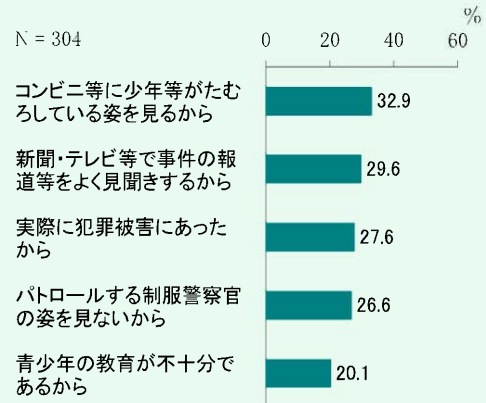
体感治安、犯罪に巻き込まれる不安感について

子どもや祖父母と同居している人ほど、治安が悪いと答えた人が多く、子どもや祖父母等への犯罪被害の懸念が、体感治安の悪化につながっているとうかがえます。

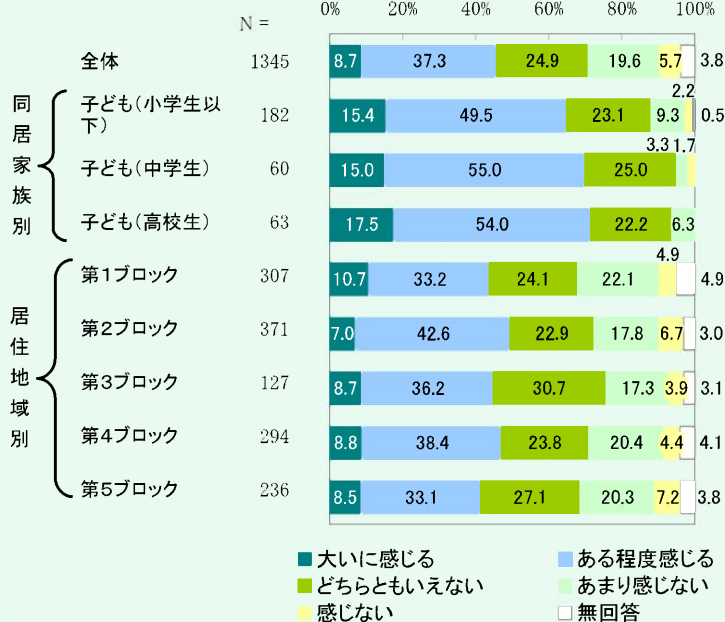
伏見区の治安について
(回答者全体、同居家族別)



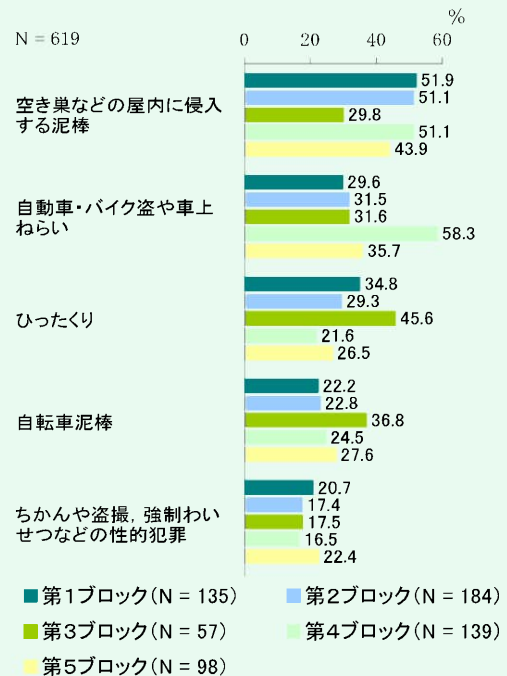
治安が悪いと感じている人の
治安が悪いと感じる原因



犯罪に巻き込まれる不安感
(回答者全体、同居家族・居住地域別)



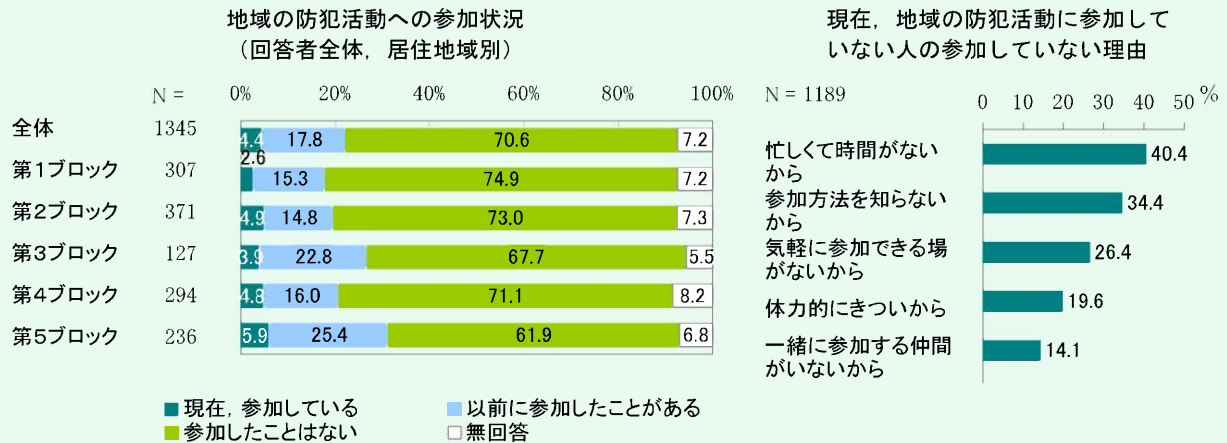
巻き込まれるかもしれないと思う犯罪
(居住地域別)



自らが犯罪に巻き込まれる可能性について、「大いに感じる」、「ある程度感じる」と不安感を持つ人が合わせて4割半ばとなっています。特に高校生以下の子どもと同居の場合、不安感を持つ割合が高くなっています。不安に思う犯罪については、空き巣や自転車盗・バイク盗、ひったくり等の被害を不安に感じている人が多く、身近な犯罪への不安感が高くなっています。

防犯活動への参加状況について

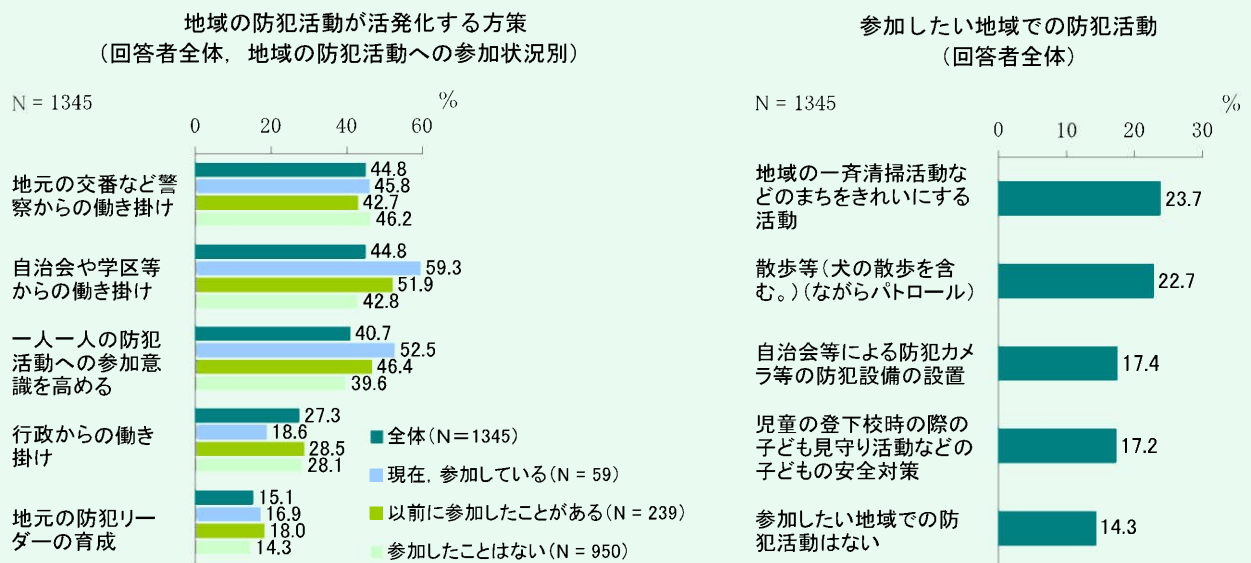
防犯活動に参加したことがない人が約7割となっており、その理由として忙しくて時間がないからと答えた人が最も多くなっています。一方で参加する方法自体を知らない人も多くいます。



防犯活動を活性化させるために

地域の防犯活動をより活性化させるため、地元の交番・警察、自治会・学区等からの働き掛けや一人一人の参加意識を高めることが重要であると答えた人が多くなっています。

中でも、現在、活動を行っている人については、そうした意見の割合が特になくなっていきます。



参加したい地域での防犯活動として、地域の一斉清掃活動などのまちをきれいにする活動や「ながらパトロール」が多くなっています。

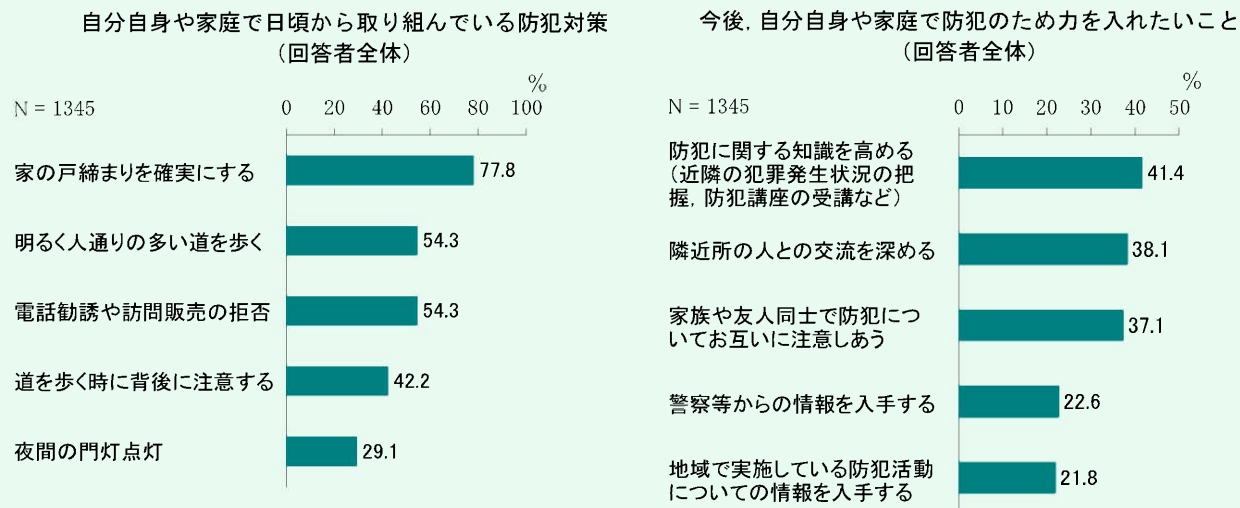
※ 「ながらパトロール」とは、散歩や買い物、通学・通勤等のついでに、普段の生活を送りながら行う防犯パトロールのことです。

「パトロール中」、「防犯」等の表示のあるバッジやワッペン、シール等を身に付け、まちを歩いてみましょう。まちの防犯だけでなく、あなた自身の健康づくりにも役立ちます。

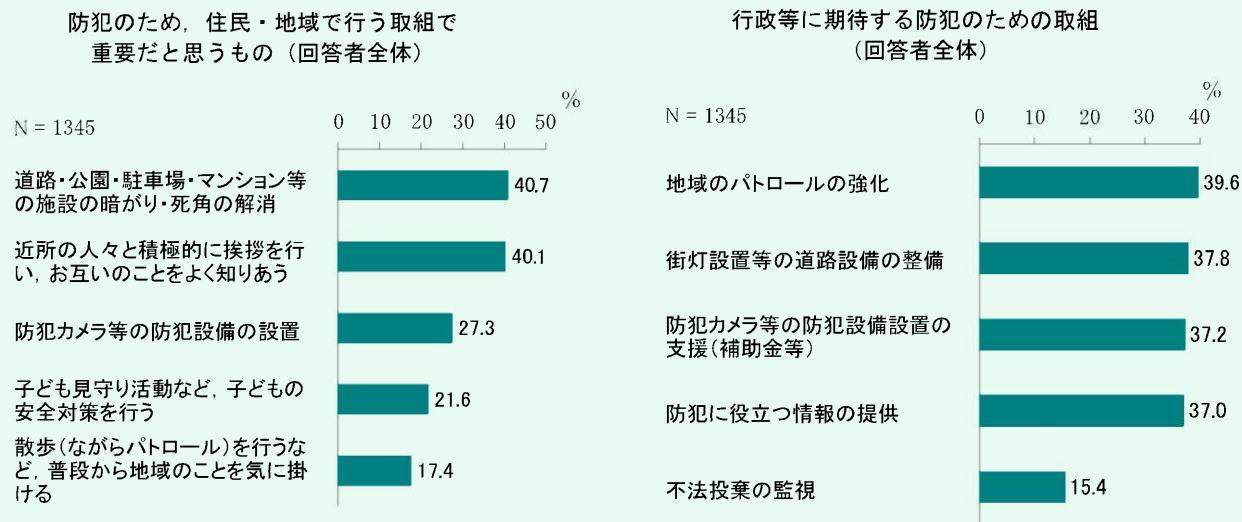
取り組みたい防犯対策, 地域・行政等に期待する防犯の取組

日頃から取り組んでいる防犯対策として、家の戸締まりを確実にすると回答した人の割合が最も高くなっています。それでも2割強の人が対策をしておらず、区民一人一人がより防犯対策を強化する必要があると考えられます。

また、今後、自分自身や家庭で防犯のために力を入れたいこととして、防犯に関する知識を高めることを回答した人の割合が最も高くなっています。



行政等に期待する防犯の取組として、地域パトロールの強化、街灯設置等の道路設備の整備、防犯カメラ等の設置の支援(補助金等)、防犯に役立つ情報の提供等の割合が高くなっています。



隣近所の人と積極的にあいさつを行う、散歩や買い物、通学・通勤の際に少し注意して周りを見てみる、自宅周辺・まちをきれいにする等、一人一人のちょっとした心配りが犯罪を抑止し、安心安全なまちづくりにつながります。

“無理せず、できることから” みんなで「安心安全に、笑顔で楽しく暮らし、観光できる、やさしさあふれるおもてなしのまち伏見」をつくりあげていきましょう。

平成 28 年 3 月

発行：「世界一安心安全・おもてなしのまち京都 市民ぐるみ推進運動」伏見区推進協議会
 (事務局) 伏見区役所地域力推進室 電話 075-611-1144
 深草支所地域力推進室 電話 075-642-3203
 醍醐支所地域力推進室 電話 075-571-6135

健康長寿に関する取組について

1 健康長寿プロジェクト

区民との共汗で広げる 健康長寿のまちづくり

(1) 事業内容

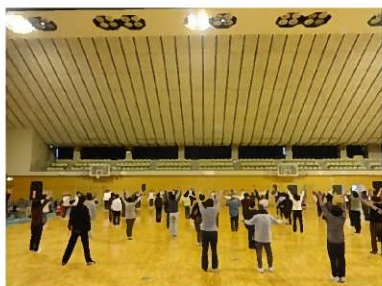
運動や健康情報の普及啓発を行うボランティア”スリムサポートかなえ隊”や”禁煙サポーター”を中心に、区民主体の地域の健康づくりに取り組む。

(2) 平成28年度実績

活動状況（平成28年4月～10月末現在）

事業名	内容	実施回数	参加者数
①げんき広場	体操・健康情報の啓発	50回	4180人（延）
②健康づくりサポーター養成講座（第7期）	養成講座受講者に対し、健康づくりサポーターの役割の理解と動機づけを行うことを目的に養成講座を実施。	1回 （全6回 実施予定）	新7人（実） 現10人（実）
③スキルアップ講座	健康づくりサポーターを対象とした研修。知識や技術の向上と、新しい活動分野の展開を支援する。	7回	109人（延）
④禁煙広報活動	集団健診会場での喫煙者に対する情報提供	3回	約50人（実）
⑤禁煙支援	歯のひろばにおける禁煙相談、保健センターにおける予約制禁煙相談	3回	5人（実）

※体操や健康情報の普及啓発のためのリーフレットを発刊予定（平成28年12月）



伏見港公園での活動



スキルアップ講座



禁煙相談

(3) 平成29年度予定

平成29年度は、現行の取組について、新体制のもとでの継続について検討する。さらに、神川・淀出張所管内地域を重点として、住民自らの健康づくりの取組を促進するため、「伏見連続講座」とタイアップした史跡巡りや、地域医療機関と連携したロコモ予防の講演会等の開催を検討する。

2 健康長寿のまち・深草

(1) 事業内容

深草にある多くの地域資源（人・自然・史跡・疏水・公共空間）を生かし、住民がいつまでも笑顔で元気に暮らせる「健康長寿のまち・深草」を創出する。

(2) 平成28年度実績

①深草まるごと健康マップの作成・各戸配布（12月配布予定）

住民の方に、地域との関わりの中で、楽しみつつ、心と体の健康づくりに役立ててもらうことを目的に、深草オリジナル情報マップを作成・配布



②深草疏水の歩いて楽しい環境づくり

- ・京都工学院高校との連携により、疏水に架かる相深橋から墨染橋までの19橋に橋間の距離等を明示した銘板を設置（2月予定）
- ・ベンチ周辺的环境整備（2月予定）
- ・住民等による公共空地の除草及び花の植栽（通年）

(3) 平成29年度予定

＜事業名：はぐくみと健康長寿のまち深草＞

地域や高校・大学等と連携し、深草の魅力ある景観である疏水沿いの公共空地の整備を行うなど、子どもからお年寄りまで、みんなが集える広場と歩きたくなる環境づくりを進めることで、子どもや若者をはぐくむとともに、住民の健康づくりを促進していく。また、深草のマスコットキャラクター「深草うずらの吉兆くん」を地域のイベント等の盛上げ役や和やかな雰囲気づくりに使用し、はぐくみと健康長寿のまち深草をアピールしていく。

3 健康長寿のまち・醍醐

(1) 事業内容

京都橘大学地域連携センターと醍醐地域の食育指導員、おとなだいご塾参加者、学生ボランティア等との協働により「健康長寿のまち・醍醐」の実現に向け、健康づくりを推進する講座・イベント等や広報普及活動を実施する。

(2) 平成28年度実績

①食育指導員による災害時の食育（防災食の普及啓発）の取組

学区総合防災訓練の機会を活用し、食育指導員による災害時の食育の取組として、災害への備えとして必要な防災備蓄食料を展示するとともに、これらの食料を活用し、災害時に栄養バランスのとれた食事を手軽に調理できる防災食についての紹介を行った。



②健康づくりに関する情報発信等

地域住民に醍醐の魅力を再発見していただけるよう、また、来訪者にはもう一度訪れたいと思っていただけるよう、警察や学生防犯ボランティアと協働し、醍醐地域の見どころを安心安全に、歩いて楽しんでいただけるマップの作成を進める。

また、醍醐もちもちいんウォーク（詳細は参考資料に掲載）について、伏見区民史跡めぐり事業とともに、健康長寿の推進事業としても位置付けて開催した。

③地域・大学との連携による健康づくり事業

京都橘大学地域連携センターと醍醐中山団地において、転倒防止体操や茶話会などを実施する「みんなでいきいき幸齢教室」や、同大学看護学部学生による、団地住民の生活での困り事の解決の手伝いをする「お助け隊」の取組について、他の地域での事業実施の参考事例としてそのノウハウを学び活かす。

(3) 平成29年度予定

28年度の取組を継続して実施するとともに、学生ボランティア等をより積極的に活用し、身近な場所での健康づくり事業の展開を図る。

子育て支援に関する取組について



1 「ふ・し・み」子育て支援プロジェクト

①子育て支援情報の提供・広報の充実

(1) 事業内容

保育所・幼稚園・児童館等の子育て関係機関の協力のもと、入園先の選択や子育てに役立つ情報誌を発行。また、本情報誌や子育て応援キャラクター「ふしみ三兄弟」を活用し、民生児童委員が赤ちゃんの生まれた家庭を訪問する「すくすくふしみっ子」事業を積極的に広報し、家庭訪問希望者の拡大を図る。



(2) 平成28年度実績

子育て支援情報誌の発行

発行日 : 10月20日

発行部数 : 3,000部

※伏見区ホームページにデータ版でも情報を掲載

本情報誌や区ホームページをはじめ、各種印刷物に「ふしみ三兄弟」を掲載している。

②プレイルームで遊ぼう

(1) 事業内容

保健センターのプレイルームを活用して、保健センターと子ども支援センターが保育所・児童館と協働し、遊びを通じての子どもとの関わり方について、保育士等と保護者が一緒に考える場とするなど、育児不安の軽減につなげる。

(2) 平成28年度実績

平成28年4月から毎月第4金曜日に開設。10月までに延べ123組が利用。利用者へのアンケート結果からは「相談ができた」や「多くの親子と交流できた」などの感想が聞かれ、好評を得ている。



2 平成29年度予定

(1) 「子どもはぐくみ室」新設による新体制のもと、子育て支援情報誌については、継続して発行するとともに、「プレイルームで遊ぼう」については、更なる改善をはかっていく。

(2) 伏見区の次代を担う子どもたちの健やかで豊かな育ちのため、歴史的・文化的資産を活用した発掘体験等や子どもの貧困対策に関する連続講演会の開催を検討する。

2 子育てしたいまち・深草

(1) 事業内容・平成28年度の実績

①「吉兆くんの子育て応援便」の充実

福祉事務所と保健センターの連携をより一層密にし、妊娠期からの子育てに役立つ情報提供の更なる充実を図った。

地域の子育て中のお母さんからの有益な情報等も盛り込んだ「子育て情報ハンドブック」を主任児童委員が届けるなど、「子育てしたいまち・深草」を実現するため、地域ぐるみで子育てを応援している。

「吉兆くん子育てSOS」グッズとして、子育ての緊急時に相談できる機関の連絡先等を記載した「マグネットクリップ」、「うちわ」を新たに作成、配布し、取組の更なる充実を図った（H28 年度上半期実績：26 件）。



「吉兆くん子育てSOS」
マグネットクリップ



(表)



(裏)

「吉兆くんうちわ」

②吉兆くんで深草の魅力発信！

地域の各種団体の活動や学校等のイベント、季節の情報などをフェイスブック「深草うずらの吉兆くんのページ」に掲載し、深草の情報・魅力発信を行った。

フェイスブック掲載件数（H28 年 10 月末現在）・・・約 130 件 ※概ね週 4 回更新
着ぐるみ貸出等件数（H28 年 10 月末現在）・・・ 25 件

(2) 平成29年度予定

事業名を「はぐくみと健康長寿のまち深草」として継続実施

3 地域を挙げて支える「だいごっこ」の育み

（醍醐地域における子育てネットワークの連携強化）

（１）事業内容

保育園，こども園，幼稚園，小学校，児童館，民生児童委員等の地域の子育て応援者が連携し，地域を挙げて「だいごっこ」の育みを支える風土づくりを進めることで，安心して子育てができる「子どもの笑顔があふれるまち醍醐」の実現に取り組む。

（２）平成２８年度実績

①子育て支援ネットワーク機関の取組

・醍醐地域の１０校区において取り組んでいる，地域と子育て機関の連携による「赤ちゃん訪問」（５学区）や「子育てサロン事業」（５学区）の実施学区を拡大し，一層の子育て支援活動に取り組む。



赤ちゃん訪問時に渡す「お祝い品」

②取組の定着に向けた研修・啓発

・保育園，こども園，幼稚園，小学校，児童館の醍醐地域の子育て関係機関の関係者で構成する「だいごっこ育み委員会」の主催により，子育て支援機関が一堂に会し，施設の垣根を越えて子どもと子育て支援に関する課題共有と一層の連携を図るための研修・交流事業を開催し，地域課題，子育て情報等の意見交換を行い，参加団体全員が共有することによって，取組の定着と拡大，レベルアップを図る。

【研修】・「人権を考える講演会」（１２月４日開催）を研修に位置付け

・「子どもの貧困対策」をテーマとした研修を平成２９年２月頃開催予定

③だいごっこ絵画展

・『地域を挙げて支える「だいごっこ」の育み』のシンボリック事業である「だいごっこ絵画展」に，醍醐地域の子育て関係機関が一致団結して取り組む。

（会場：平成２８年１１月１８日～１１月２４日 パセオ・ダイゴロー，平成２９年２月 地下鉄醍醐駅，石田駅，小野駅）



（３）平成２９年度予定

平成２９年度の「子どもはぐくみ室」創設により，支所での一元的な子ども・子育て支援の取組を，地域の子育て機関や子育て応援者との連携の下，一層推進する。

平成 28 年度伏見区区民活動支援事業について

1 概要

(1) 目的

「伏見区基本計画～皆でつくる すむまち伏見～」(以下、「計画」という。)で定める伏見区の目指すべき将来像の実現を図るため、区民が主体的に実施するまちづくり活動を支援する。

(2) 対象団体

伏見区内でまちづくり活動を実施する団体・グループ

(3) 対象事業

対象団体が伏見区内で実施する事業のうち、計画の推進に資すると認められるもの
平成 28 年度は、健康長寿・子育て支援の取組を重点テーマに設定

(4) 補助額

一般枠

上限 60 万円 (必要事業経費の 2 分の 1 以内)

京都府地域力再生プロジェクト支援事業補助金を併用することで、自己負担の軽減が可能

小規模枠

上限 15 万円 (必要事業経費の 5 分の 4 以内)

まちづくり活動に参画したボランティアスタッフの労力を金額に換算し、自己負担分に充当することも可能

(5) 募集期間

平成 28 年 4 月 15 日 (水) から平成 28 年 5 月 13 日 (金) まで
～土曜日・夜間相談会の開催～

日時	場所
平成 28 年 4 月 16 日 (土) 10 時 30 分～	伏見区総合庁舎
平成 28 年 4 月 26 日 (火) 18 時～	深草総合庁舎
平成 28 年 4 月 28 日 (木) 18 時 30 分～	醍醐総合庁舎

2 予算・採択状況

予算額 10,000 千円

	申請件数 (金額)	採択件数 (金額)
平成 28 年度	54 事業 (14,178 千円)	37 事業 (9,767 千円)
一般枠	20 事業 (9,704 千円)	14 事業 (6,747 千円)
小規模枠	34 事業 (4,474 千円)	23 事業 (3,020 千円)

参考：過去の申請・採択状況

	申請件数 (金額)	採択件数 (金額)
平成 24 年度	26 事業 (7,483 千円)	19 事業 (4,946 千円)
平成 25 年度	39 事業 (10,504 千円)	33 事業 (8,400 千円)
平成 26 年度	40 事業 (10,309 千円)	33 事業 (8,142 千円)
平成 27 年度	53 事業 (14,052 千円)	33 事業 (8,393 千円)

（広報資料）



平成28年7月4日
伏見区役所
深草支所・醍醐支所
（担当 地域力推進室 電話 611-1295）

平成28年度 伏見区区民活動支援事業補助金交付事業の決定について ～区民が主役のまちづくりに取り組む37事業を採択！～

伏見区では、「伏見区基本計画～皆でつくる すむまち伏見～」に掲げる、目指すべき将来像の実現に向けて、区民主体で取り組まれるまちづくり活動を支援しています。

この度、本年6月24日（金）に開催されました「平成28年度伏見区区民活動支援事業審査会」での審査を経て、下記のとおり補助金交付事業を決定しましたので、お知らせします。

記

1 申請事業数及び補助金交付事業数

- （1）申請事業数 54件（一般枠 20件、小規模枠 34件）
- （2）補助金交付事業数 37件（一般枠 14件、小規模枠 23件）

2 補助金交付予定額

9,767千円（一般枠 6,747千円、小規模枠 3,020千円）

3 補助金交付事業の概要

別紙のとおり

【参考】

一般枠

補助金交付額は、必要事業経費の2分の1以内で上限は60万円

小規模枠

補助金交付額は、必要事業経費の5分の4以内で上限は15万円

(別紙)

【一般枠】

事業名 (申請団体名)	事業概要	交付予定額 (円)
横大路まちづくりフェスティバル (横大路まちづくり協議会)	横大路地域は市内唯一区画整理事業ができていない地域であり平成元年から着手されているが未だに完了していない。そのため、区画整理の重要性を地域住民に広く浸透させ、将来の横大路のまちづくりを知っていただき区画整理事業を推進させるために、「横大路まちづくりフェスティバル」を開催する。	600,000
学区民の生活史発掘共有化プロジェクト (伏見区砂川学区自治連合会)	住民の地域愛着と帰属意識を高め、地域貢献意欲の活性化の一助とするため、①「小学校史」講演会、②住民の自分史・家族史、③「警察学校の歩み」、④「70年前の砂川」について聞き取り、⑤敬老会・多世代交流会等での発表に対する感想を編集し、出版する。それを住民に配布するとともに、中学生の教材などへの活用を検討する。	450,000
伏見オリジナルの川酒菜文化の創出、及びその確立のための枠組みづくり事業 (川魚文化再興プロジェクトチーム)	伏見は、淀川水系の大河である桂川、鴨川、宇治川の三河川に囲まれた水の都である。この伏見において、川酒菜(川魚)を基礎にした食文化を創出し、伏見の魅力を発信するとともに「新しい京都」のまちづくりを牽引する。	206,000
『古文書で伏見の歴史を再発見！』 (特定非営利活動法人史料データ保存ネットワーク)	景気の回復に伴って家屋の建替え、蔵の解体などが進み、大切な歴史遺産である「古文書」などの紙資料が急速な速さで消滅しているため、史料の所在確認や内容の把握をするとともに現物の保存を目指す。	315,000
みんなで創ろう「伏見ふれあい未来館」内装工事 (特定非営利活動法人伏見板橋よいまちづくり)	平成28年1月22日に京都市と当団体とが旧伏見区青少年活動センターの2、3階部分を賃借する契約が整った。昨年度に引き続き、「出来ることは自分たちの手で！」をスローガンに内装工事を自分たちで行う。	600,000
墨染地域活性化 (墨染活性化委員会)	お年寄りや子どもの居場所的存在のふれあいサークル(唱歌のつどい)、さつまいも収穫祭、メンタルセミナー、さくらまつりを中心とした事業を通じて、お年寄りや地域の方たちが集う居場所作りをする。	600,000
伏見・お城まつり2016 (伏見・お城まつり実行委員会)	今年で3回目になる「伏見・お城まつり」を区民による手作りの「区民まつり」と位置付け、伏見桃山城を活用した伏見・お城まつりの事業を通じて、かつての伏見城や城下町・伏見の歴史を伏見区民のみならず、多くの市民に知っていただき、伏見のまちの魅力を実感していただくと共に、伏見のまちの活性化につなげる。	600,000
日本初！！天体観望会の地・伏見 -見て×作って×歩いて＝学びの場づくり- (黄華堂再発見プロジェクト実行委員会)	日本初の天体観測会が開催されたという伏見区に存在していたと考えられる「黄華堂」及びそのオーナーである橋の足跡を地域住民とともにたどり、改めてその功績の今日的意義を探り、地域の文化力を高め、史実調査にとどまらず教育機関、商店街等も巻き込んだ新たな地域コミュニティ形成を目指す。	600,000
伏見阿国(おくに)歌舞伎の再現プロジェクト (伏見子ども阿国(おくに)歌舞伎実行委員会)	出雲の阿国が初めて歌舞伎を演じたのは伏見城に参上し、徳川家康と対面した時である。本事業は、阿国歌舞伎を子ども歌舞伎として再現し、上演し、動画をインターネットで公開することにより、新たな観光資源を創出するとともに子どもに歌舞伎の上演を通して家族愛に満ちた物語を伝え、家族間の思いやりを深める。	600,000
伏見区における地域と商店街の連携推進支援事業 (伏見区における地域と商店街の連携推進支援事業実行委員会)	地域活動の担い手不足が課題となっている現在、新たな担い手として市民活動をされている方や学生等の方々と連携していくことが必要となっている。そのためには、生活の中心となっている商店街において地域福祉活動を実践し、成果を共有する機会を設けることで、新たな担い手、新たな活動の創出のきっかけとする。	600,000
よろず相談 (特定非営利活動法人 ちいろば)	地域には一人暮らしや孤立されている方が少なからず住んでいる。地域の繋がりが断たれることと孤立死を防ぐためにも、みんなと一緒にふれあう機会を増やす必要性を感じる。「世間話で救える命」を念頭に、地域の拠点となる居場所で、地域で困っている人の声を聞く「よろず相談事業」を実施して、地域の方の健やかな暮らしを支えたい。	363,000
向島ニュータウンの再生と健康福祉のまちづくり推進事業 (向島駅前まちづくり協議会)	地域包括ケアと向島ニュータウンのまちづくり研究会の発足、ニュータウン再生講演会の開催、他都市の視察、向島中央公園の自然環境整備、第10回秋の祭典の開催等により、向島ニュータウンが抱える諸問題の解決に向けて活動する。	530,000
みどりのまちづくりプロジェクト (桃山プロジェクト)	これまでの活動に参加してくれた延べ500人を超えるボランティア参加者の受け皿となり、伏見区内の公園等の公共緑地管理を行うコミュニティを構成し、活動を通じて、自然に親しみながらまちを美化し、豊かな地域社会を育む。	447,000
集合住宅と地域を結ぶ多世代交流居場所・きずなづくり事業「ことはいカフェ」 (コトーハイツ伏見稲荷きずなづくり事業実行委員会)	集合住宅(マンション)では、独り暮らしの高齢者等の孤立化が進んでいることが課題となる一方で、住民同士の助け合い・サポートに対する要望もあり、それらの課題・要望を踏まえて、集合住宅と地域のつながりやきずなを深めるため、子育て世代からシニア世代までの多世代交流居場所サロン「ことはいカフェ」を開催する。	236,000
	合計14事業	6,747,000

(別紙)

【小規模枠】

事業名 (申請団体名)	事業概要	交付予定額 (円)
「さんあいしんぶん」の発行 (御霊ヶ下・大横 町内会)	会員の少子高齢化による地域力の弱体化が進む中、町内会活動の「意義」と「今」を知らせる「さんあいしんぶん」を作成し、町内全世帯(約450世帯)へ配布する。年度内6回の発行を予定し、町内や学区の行事等を知らせることで親密性の深化とコミュニケーションの活性化を促進し、また、町内会への入会を勧誘する。	120,000
認知症の人もそうでない人もみんなずっとこの地域で暮らしていける (ちえのわ)	マンション等も増え桃山地域でも高齢者の方が増加している。今後増加が予想される認知症という症例について、地域のみんが正しい知識を持ち、お互い様の気持ちで声をかけあえるようなコミュニティを築くことを目的に公的機関や介護サービスを利用される前の方に予防や支援を実施する。	150,000
災害の教訓に学ぶ 冊子の制作事業 (下鳥羽自治連合会)	平成25年台風18号の甚大な被害が発生した下鳥羽地域における各団体の活動の記録をまとめた冊子を作成し、今後の災害に備え改善すべき点を把握し、防災訓練の際のテキストとして活用する。	150,000
～認知症につよいまちづくりの輪～ (ももネット)	認知症高齢者の行方不明及び総合相談が年々増加している。児童や障がい、高齢など病気や年齢に関係なく、桃山地域の全ての世代が住みやすいまちとするため、認知症理解の普及活動、行方不明者搜索ネットワークの構築や居場所づくりを行う。	103,000
第一回淀夏祭り (淀催事の会)	淀地域では学区単位でのお祭りがなく住民が参加できるイベントが少ない。そのため、地域住民が参加できる夏祭りを実施し、健やかな暮らしを支えるまちづくりを目指す。	150,000
藤森神社ラジオ体操の会 (藤森神社ラジオ体操の会)	17年前に地域の有志で健康増進のため藤森神社において毎朝ラジオ体操を始めたところ、好評で毎回90人程度が参加するようになった。しかし、地域にはまだ他人との交流の少ない高齢者も多いため、これまでの活動を継続するとともに、活動を広めるための広報活動を行う。また、ラジオ体操で使用した広場や境内を清掃する。	48,000
児童通学路交通安全対策及び車両に対し啓発活動 (久我の杜交通安全推進委員会)	近年、小規模開発が進み道路が狭く迷路状態となり、在来の抜け道と繁がり、交通事故が多発している。そのため、警察の交通安全の規制標識だけでは足りない標識を購入し取り付ける。	150,000
神川出張所区民交流スペースの展示物のリニューアル(地域の歴史・文化の発掘・発信活動) (久我・久我的杜・羽東師地域まちづくり協議会)	平成25年5月に神川出張所が移転した際に設けられた交流スペースの側面に当協議会が、平成24年度区民活動支援事業を活用して、地域の沿革等を展示している。昨年に実施した国勢調査の結果が今年度公表されることから、展示物のリニューアルを行う。	132,000
活きいきお出かけ応援プロジェクト (活きいきお出かけ応援プロジェクト)	深草地域では、地理的や環境等の理由で引きこもり気味の高齢者が多く存在する。そのような高齢者の気持ちを理解するとともに、社協や地域包括と連携し安心して外出できるような取組をする。また、地域内で声掛け等、外出援助が出来る人材を育成する仕組み作りの研修等を行う。	150,000
まちのきょういく委員会 里山プレイパークをつくらう (父活プロジェクト)	既存の地域団体やNPO、企業と連携して、人とまちを共に育てていく「きょういく」環境をつくっていくことを狙いとする「まちのきょういく委員会」事業において、里山プレイパークに向けた、里山整備や植樹等の実践的な活動に取り組む。	150,000
鴨川運河 ～発見・発信 & 発進～ (鴨川運河会議)	地域住民のなかに、身近な公共空間である鴨川運河への愛着が生まれ、その保全・活用に関する機運が高まり、継続的な活動へと広がっていくことを目指し、歴史的・文化的遺産等の資料収集・展示やシンポジウムの開催、ウォーキングやカフェ事業の実施、地域イベントへの参画等を行う。	150,000
地域力で行うロコモ予防 (伏見ロコモ予防クラブ)	これから迎える超高齢化時代に、淀地域に住んでいる人々が、いかに健康で、元氣なコミュニティを築き、維持していくために「健康年齢と平均寿命」の合致を目指して、水中ウォーキングやボールウォーキングの教室を開催する。	150,000
向島多文化交流 (アジア・アフリカとびっくり映画祭実行委員会)	向島ニュータウンとその周辺には在日外国人や中国帰国者が多数居住しており、向島地域の一部では、文化的背景の違いとその理解不足から地域住民間のトラブル等が引き起こされている。そういったトラブルを引き起こさないために、映画祭並びに関連ワークショップ等の文化交流事業を通じて相互理解を深める。	150,000
五感でごはん～親子で体験 食育プロジェクト～ (五感でごはん実行委員会)	深草地域は身近な場所に畑が見られるが、子供たちの多くは野菜がどのように育てられているかを知る機会は少なく、そのことが子供たちの食生活が偏ることに繋がり、生きる力を十分に付けられずにいる。この事業では、新鮮な野菜の収穫体験等を通じて子供たちが自分で食べ物を選ぶ力や生きる力を身に付けるようにする。	100,000
地域の人と人をつなぐだいがキャンドル (だいがキャンドルプロジェクト)	キャンドルイベントの開催により、人と人とのつながりをつくり、地域活動への参加を促進し、新たな担い手を生み出すことを図る。醍醐地域に居住、通学、通勤している人にキャンドルとなる紙コップに地域への思いや願いなどを記入してもらい、保育園や小中学校、高校をはじめ、各施設や団体、お店等で紙コップにキャンドルを入れ点灯する。	150,000
醍醐中山団地での交通安全教室 (京都橋大学 地域連携センター)	醍醐中山団地の住民の交通事故撲滅に向けて、醍醐中山団地町内連合会と協働で、団地内における危険地域を把握し、安全マップを作成し配布する。3回のワークショップを行い、警察職員による交通安全教室や自転車の整備とマナー教室を実施する。また、団地内に居住する外国人にも日本の交通ルールやマナーを学んでもらい、地域コミュニティの活性化や異文化の交流を図る。	150,000
子育て支援と異年齢の交流を行う (笑顔いっぱい会)	子育ての孤立化や高齢者の一人暮らしなどの課題がある中、多様な世代の方が気軽に立ち寄り交流できる居場所づくりを提供したい。子育ての専門家や絵本の読み聞かせサークルや手芸教室の講師を招き、子育て相談や親同士の交流と情報交換などの機会をつくる「子育て支援事業」と、赤やんからお年寄りまで一緒に遊んだり交流できる機会をつくる「異年齢の交流事業」を実施する。	86,000
「久我やすらぎルーム」 (久我自治連合会)	高齢者の居場所づくりに関して、昨年度は社会福祉協議会の支援をうけ、65回開催した。しかし、65歳以上という制限があり、65歳未満の方たちが参加できなかったため、今年年齢制限をなくした居場所づくりを実施する。	150,000
久我食育推進事業 (久我土ん子クラブ)	久我地域は、今なお多くの農地が残っているが、特に新興住宅の住民の食と農に対する関心は低く、当クラブが管理している久我体験農園も食育の場として十分に機能していない。そのため、食育イベントを実施し食と農に対する理解を深める。	133,000
ヨシ灯り展 (伏見楽舎)	宇治川沿いに自生しているヨシの活用として、オブジェの制作を通して親子で地元産のヨシの大切さを体験・実感してもらうとともに、ヨシ灯り展を伏見区の観光の一つにする。	80,000
高齢者施設を訪問し、朗読・読み聞かせ等を通して「笑顔のふれあい活動」 (お話の会 すずらん倶楽部)	高齢者は、心身の状況で狭い行動範囲又は単調になりがちな生活を送ることで、孤立化しやすい。住み慣れた地域で、心豊かに生活できるようにふれあいの機会を持ち、繋がりを深めていくことを目的として、自由に出掛けにくい方たちが集まれる場に、こちらから訪問し、特に様々な世界を楽しめる本の読み聞かせ等を行う。	150,000
パネルシアターの制作と実演 (チーム・ノーマライゼーション)	一人親世帯の親が抱える問題として子どもに対する教育への不安を和らげ、また家庭の負担軽減のため、児童館にて、マナーや環境問題を取り扱うパネルシアターを実施する。	127,000
古写真で知るわが町の歴史「醍醐古写真展」 (醍醐の歴史と暮らしを学ぶ会)	醍醐地区の住民から醍醐の古写真を提供してもらい、ダイゴロー西館のアトリウムをメイン会場として醍醐支所や醍醐小学校で「醍醐古写真展」を開催し、自然と歴史が息づく地域の魅力を発信する。そのことにより、大人から子供まで郷土愛を育み、更には地域コミュニティの活性を図る。	141,000
	合計23事業	3,020,000

資料5（別紙2）

伏見区区民活動支援事業（平成28年度採択）の主な事業の進捗状況について

1 まちづくり関連



（事業名） 伏見・お城まつり 2016

（団体名） 伏見・お城まつり実行委員会

（補助金額） 600,000 円

（事業概要）

区民による手作りの「区民まつり」と位置付け、伏見桃山城を活用した伏見・お城まつりの事業を通じて、伏見のまちの魅力を実感していただくと共に、伏見のまちの活性化にもつなげる。

○10月16日（日）開催、来場者数約8000人

2 防災関連



（事業名） 災害の教訓に学ぶ 冊子の制作事業

（団体名） 下鳥羽自治連合会

（補助金額） 150,000 円

（事業概要）

平成25年台風18号の甚大な被害が発生した下鳥羽地域における各団体の活動の記録を冊子にまとめ、今後の災害に備え、防災訓練の際のテキストとして活用する。

○平成28年9月完成（全34ページ）500部印刷

○学区の世帯及び学校等に配布

3 こども関連



読み聞かせ

（事業名） 子育て支援と異年齢の交流を行う

（団体名） 笑顔いっぱいのかい

（補助金額） 86,000 円

（事業概要）

多様な世代が交流できる居場所づくりを提供するため、子育ての専門家や絵本の読み聞かせの講師を招き、子育て相談や親同士の情報交換などの機会をつくる「子育て支援事業」と、赤ちゃんからお年寄りまでが交流できる「異年齢の交流事業」を実施する。

4 健康長寿関連



定期サロン

(事業名) ～認知症につよいまちづくりの輪～

(団体名) ももネット

(補助金額) 103,000 円

(事業概要)

認知症理解の普及活動, 行方不明者捜索ネットワークの構築や居場所づくりを行う。

○定期サロンの開催 毎月3箇所計6回開催

○行方不明者捜索ネットワーク

(毎月1回警察等と捜索模擬訓練実施)

5 文化関連



ウォーキング・カフェイベント

(事業名) 鴨川運河 ～発見・発信&発進～

(団体名) 鴨川運河会議

(補助金額) 150,000 円

(事業概要)

地域住民に身近な鴨川運河への愛着が生まれ, 保全・活用に関する機運が高まり, 継続的な活動へと広がっていくことを目指す。

○12月4日(日)「深草歴史景観探しウォーキング」, 「カフェで団らん「運河のある街」ミニ展示」開催

○3月 活動報告会&交流会 等

6 環境関連



(事業名) ヨシ灯り展

(団体名) 伏見楽舎

(補助金額) 85,000 円

(事業概要)

宇治川沿いに自生しているヨシの活用として, オブジェの制作を通して親子で地元産のヨシの大切さを体験・実感してもらうとともに, ヨシ灯り展を伏見区の観光の一つにする。

○9月7日, 8日, 小学生によるオブジェ制作会を実施

伏見区基本計画重点戦略「融合プロジェクト」について

伏見区基本計画を推進するため、まちづくりの基軸となり、各分野を融合して幅広い効果が期待できる次の3つの取組を「融合プロジェクト」と名づけ、「伏見ですむ」人・事業者と行政が主体となった取組を重点的に進めることとしている。

1 エコライフ・プロジェクト

環境共生の魁（さがけ）をめざし、区民が主役のエコライフ活動を提唱する

2 魅力再発見・プロジェクト

地域の魅力や資源を再発見し、「伏魅力」を内外に発信する

3 絆づくり・プロジェクト

地域で活動する人や団体、事業者等の情報共有、交流、サポートを行う

1 エコライフスタイル「伏見ですむ」～エコライフ・プロジェクト～



(1) 事業内容

区民が主役のエコライフ活動の実践に向け、市民活動団体、事業者、行政等の交流・連携を促進しつつ、区民一人ひとりが環境にやさしい行動をするきっかけとなる事業展開を図る。

区民、事業者、大学等で構成する同プロジェクトチームが中心となり、伏見の多彩な人や団体の取組内容を知ってもらうための新たな情報発信を試みるとともに、そこから知り得た「伏見の恵み」を活かした区民参加型の交流イベントを行う。

(2) 平成28年度状況

ア 区民にぎわいエコ朝市

地産地消をテーマに今までに当事業で取り上げた農家さんや事業者さんに出展してもらい、地元で採れた野菜やエコにちなんだ特産品（生花、佃煮、餅、蜂蜜等）を販売した。

開催日	来場者数	出店数
6月29日（水）	約400人	10店舗
12月9日（金）	—	10店舗＋α



イ 伏見のめぐみプロジェクト（エコクッキング）

地産地消の大切さなどを実感してもらう機会として、下表のとおり「伏見のめぐみプロジェクト」を開催した。

第1回目、2回目ともに伏見産の食材を沢山使った料理教室を実施した。

講師からエコに繋がる調理方法の説明を受け、参加者は熱心に聞いていた。

開催日	場所	参加費	参加者
7月23日（土）	京エコロジーセンター	500円	24人
8月6日（土）	伏見青少年活動センター	500円	16人



ウ エコれば取材

伏見の恵みとなる資源（農作物、水、日本酒、エネルギーなど）や自然に関わる人について、区民公募の「エコれば隊」に加え、平成 27 年度から龍谷大学政策学部清水ゼミの学生が授業の一部として取材調査し、その魅力をホームページ等を通じて広く発信し、区民に環境にやさしい行動を呼びかけている。

○イベントへの参加

伏見ふれあいプラザへの出店（9 月 4 日）

地元野菜、シソジュース、ジンジャーエールの販売



（３）平成２９年度予定

これまで蓄積したノウハウや人のネットワークを活用し、小学生の親子対象の夏休みイベントを通して、次代の人づくりにも力を入れ、エコライフ活動を拡げるきっかけとなる情報発信と参加者の拡大を目指していく。

2 「伏魅力」再発見・発信～魅力再発見・プロジェクト～

伏見連続講座 ―ふれて、して、みて伏見―



(1) 参画団体

- ・京都聖母女学院短期大学
- ・龍谷大学龍谷エクステンションセンター
- ・京都文教大学フィールドリサーチオフィス
- ・京都教育大学
- ・種智院大学
- ・深草ふれあい事業実行委員会
- ・醍醐もちもちいんウォーク企画委員会
- ・伏見歩き隊
- ・伏見楽舎
- ・伏見まるごと博物館
- ・伏見城研究会
- ・深草古絵図プロジェクト（新規）
- ・桃山同窓会（新規）

(2) 平成28年度開講スケジュール、受講者数一覧

回	開催日	主催者	講座名	定員	受講者数
1	10月1日（土）	龍谷大学	8ミリフィルムを後世に残していくために ～昭和のホームムービー上映の魅力とは～	100名	68名
2	10月2日（日）	伏見歩き隊	新京阪山科線・京阪六地蔵線 ～戦前の伏見を巡る鉄道計画はこうだった～	30名	40名
3	10月7日（金）	京都文教大学	『淀古今眞佐子』を歩く ～淀本町・淀新町の歴史～	15名	20名
4	10月15日（土）	伏見楽舎	伏見史跡探訪会ツアー ～全3回シリーズ～ 第1回「古き良き歴史の里・深草めぐり」	30名	35名
5		京都文教大学	プロに学ぶ 寒天のお菓子づくり体験 ～寒天の発祥の地、伏見～	15名	29名
6	10月29日（土）	伏見楽舎	伏見史跡探訪会 座学 「歴史の中の伏見、その史跡と人物」	200名	185名
7		京都文教大学	ふしみ子ども記者～巨椋池干拓地の農業体験 とはがき新聞づくり～	15名	6名
8	11月3日（木・祝）	京都文教大学	向島城～月見と巨椋池に浮かぶ水城～ （※好評につき定員を拡大）	200名	252名
9	11月5日（土）	種智院大学	認知症を持ちながら伏見で生きる ～認知症の道しるべを語る～	150名	81名
10	11月11日（金）	京都教育大学	シリーズ『京都教育大学の歴史——京都府師 範学校創立140年』 第2回「歴史としての京教に出会う」	160名	56名
11	11月12日（土）	深草古絵図 プロジェクト	歴史街道ウォーキング 「深草の大和街道（大和大路）」	30名	48名
12		桃山同窓会	伏見の桓武天皇陵を探る	200名	182名
13		伏見歩き隊	伏見町から六地蔵村へ ～江戸時代の人々は 伏見城跡のここを歩いた～	20名	23名
14	11月19日（土）	醍醐もちもち いんウォーク 企画委員会	醍醐もちもちいんウォーク	100名	73名
15		伏見楽舎	伏見史跡探訪会ツアー 第2回「鳥羽離宮跡をたどる」	30名	26名
16	12月3日（土）	京都聖母女学 院短期大学	聖母女学院と伏見	200名	名
17	12月10日（土）	京都聖母女学 院短期大学	見学ツアー 「聖母女学院法人本館（旧陸軍 第十六師団本部）」	100名	名

回	開催日	主催者	講座名	定員	受講者数
18	12月10日(土)	深草古絵図プロジェクト	平安貴族が歩いた深草地域	100名	名
19	1月14日(土)	深草ふれあい事業実行委員会	第14回深草文化交流 「妖怪と日本人 ―妖狐伝説を中心に―」	200名	名
追加	1月15日(日)	伏見歩き隊	「新京阪山科線・京阪六地蔵線～戦前の伏見を巡る鉄道計画はこうだった～」	100名	
20	1月27日(金)	京都教育大学	シリーズ『京都教育大学の歴史——京都府師範学校創立140年』 第3回「まなびの森ミュージアムの所蔵資料で振り返る京都教育大学の歴史」	160名	名
21	3月18日(土)	伏見楽舎	伏見史跡探訪会ツアー 第3回「伏見の隠れた大仏を見よう」	30名	名
番外編	8月6日(土)	京都市歴史資料館	「よみがえる伏見城」 ※好評につき定員拡大	80名	273名
	8月10日(水)	財)京都市埋蔵文化財研究所	「伏見城と伏見人形」	60名	21名
	9月10日(土)	財)京都市埋蔵文化財研究所	「伏見城跡発掘調査体験」	30名	28名
受講数合計：1,446名（11月19日時点）					

(3) 広報

ア 受講ガイドの作成

受講ガイド冊子を作成し、区内町内回覧を行うとともに、市役所、各区役所、支所、出張所等で配布

イ 市民しんぶん伏見区版に月ごとのスケジュールを掲載

ウ FM845＝放送番組：「ピッカピカラジオ」で紹介

(4) 平成29年度予定

平成29年度は、文化庁の京都移転や、子育て支援、観光振興の観点を踏まえ、伏見ならではの歴史・文化を掘り起こす講演会等を開催するとともに、歴史資源等を活用し、健康長寿も意識したまち歩き講座も積極的に実施していく。



龍谷大学での講座



淀周辺のまち歩き講座



3 絆づくり・「伏見力」増進～絆づくりプロジェクト～

①伏見をさかになにざっくばらん

(1) 事業内容

伏見に縁のある方々が、「伏見を盛り上げたい」、「伏見の魅力を発信したい」などの伏見への思いをざっくばらんに出し合う中でテーマを提案し、そのテーマごとにチームを立ち上げ、ワークショップ形式で議論を深め、区民主体のまちづくり活動につなげていくことを目的として、平成24年6月から毎月最終土曜日の午後に定例会を開催。

(事務局) 伏見区役所・深草支所・醍醐支所，京都市まちづくりアドバイザー

NPO 法人 場とつながりラボ home's vi

(協力団体) 京都市伏見いきいき市民活動センター，京都市景観・まちづくりセンター，京都市伏見青少年活動センター，京エコロジーセンター，京都市国際交流会館

(2) 平成28年度実施状況

ア 開催状況

回	実施日	参加者数	内容
1	4月16日(土)	54名	・参加者の交流を深めるワークショップ
2	5月28日(土)	73名	・参加者による今後取り組みたい事業提案
3	6月25日(土)	58名	・仲間集めとグループ会議
4	7月30日(土)	57名	・事業提案ごとにチーム結成 ・具体的なまちづくり活動の実践に向けての議論
5	8月20日(日)	57名	・「伏見ふれあいプラザ2016」出展準備 ・各チームの実施するまちづくり活動及びイベントの企画等について議論(以下「チーム会議」)
☆	9月4日(日)	有志 (30名)	・「伏見ふれあいプラザ2016」において，ふしざくブースを開設し，PR活動を実施
6	9月24日(土)	48名	・「ふれあいプラザ2016」活動報告 ・チーム会議の充実
☆	10月16日(日)	有志 (10名)	・「伏見・お城まつり」において，ふしざくブースを開設し，PR活動を実施
7	10月29日(土)	54名	・「伏見・お城まつり」活動報告 ・チーム会議
8	11月26日(土)	名	・各チーム活動の充実と，今後の活動等について，チーム会議での議論 ・他のチームとの連携の模索 ・参加者によるチラシ配布等のPR活動 ・3月の「ふしざく祭り」の準備
9	12月17日(土)	名	
10	1月28日(土)	名	
11	2月25日(土)	名	
12	3月11日(土)	名	・各チームの第5期での活動成果発表と交流の場「ふしざく祭り」を開催予定
合計		441名	※10月29日現在

(3) 平成29年度予定

平成29年4月から、第6期の開催を予定。若い世代に取組を拡大するため、中高生、大学生による「ユースふしざく（仮称）」の立ち上げに向けた取組を推進するとともに、個々のチーム活動の「見える化」に重点を置いた広報活動の充実や、チーム活動の更なる活発化とチームの枠を超えた連携を図っていく。



【参考】平成28年度 チーム一覧		※順不同
①チーム「お城マップ」 かつての伏見城や城下町・伏見の歴史を多くの人に知ってもらい、伏見のまちを元気にする。	⑥伏見の環境を守る会 伏見の環境保全のため、自然環境をテーマにした写真展や、竹細工の展覧会など、幅広く活動を行っている。	⑪ふしみ和・ハ・ハま〜じゃん塾 中高齢者の仲間・居場所づくりを通じて伏見のまちの活性化につなげる。
②チーム街コミ 居場所作りを通じて多世代間交流及び伏見の活性化を目指す。	⑦伏見の昔話を掘りおこす会 伏見に伝わる昔話を掘りおこし、冊子を作成。これまでの活動を紹介する講演会も開催予定	⑫伏見子ども阿国（おくに）歌舞伎実行委員会（区民活動支援事業採択事業） 子ども歌舞伎を再現し、観光資源の創出や親子・兄弟の思いやりを深める
③蔵ジャズフェスティバル&日本酒を肴に“ざっくばらん” 酒蔵が立ち並ぶ日本酒の街に「音楽」を取り入れ、街の活性化を図る。	⑧伏見ゆるキャラ大作戦！ 伏見発のゆるキャラを通じて、伏見の魅力発信、区内のイベントを盛り上げる。	⑬和みの空間 空き家を活用して様々なワークショップを開催。
④伏見歴史D0！ 「伏見の歴史大好き！」が集い、歴史についてざっくばらんに語り合う。研究成果は発表会で広く発信予定	⑨伏見防災チーム 勉強会や防災センターの見学など、情報交換により伏見区民の防災意識と防災力の向上を図る。	
⑤ちょいノリ京都プロジェクト コミュニティサイクルの導入・普及をめざし、仲間の輪を拡げていく	⑩ふれあいオレンジカフェももやま実行委員会 認知症予防のために音楽療法等の周知発信のため、体験イベント等を開催	

②深草まるごとつながりネットワーク（通称：深まるねっと）



（１）事業内容

深草のまちづくりに関心をもつ地域住民やNPO法人等に、地域の様々なテーマについて活発な議論を深めてもらうことにより、住民が主体となるまちづくり活動のネットワークを形成し、そこで出てきたアイデアをまちづくりに繋げることを目的とする。

（２）平成２８年度実績

平成２８年度テーマ 「深草のみどりの保全整備から再生へ」			
回	実 施 日	参加者数	テ ー マ
1	５月１４日（土）	２０名	「印象に残る〇〇を見つけよう！～観察編～」
2	６月 ４日（土）	８５名	「印象に残る〇〇を見つけよう！～清掃編～」
3	７月３０日（土）	７０名	「印象に残る〇〇を見つけよう！～学習編～」
4	８月２７日（土）	１７名	「印象に残る〇〇を見つけよう！～大人の遠足編～」
5	９月１７日（土）	１８名	大岩神社周辺整備活動計画書作成
6	１０月１日（土）	１２名	※雨天中止のためミーティング
7	１１月５日（土）	２５名	「新たな印象をつくろう！」土砂撤去、清掃等活動
8	１２月１０日（土）		整備活動
9	１月７日（土）		
合 計		２４７名	※11月21日現在



第１回 ～観察編～



第３回 ～学習編～

（３）平成２９年度予定

「子ども若者はぐくみ局」の設置を契機に、子育て、子どもの貧困、高齢者の健康、居場所づくりなど、子供から高齢者までを視野に入れた福祉的なテーマを設定し活動する予定。

③おとなだご塾

(1) 事業内容

地域の次世代を担う志ある若手住民に対し、まちづくりの知識、手法などについて専門性の高い講座を行い、地域のまちづくり活動の担い手として育成する。

(事務局) 醍醐支所, 京都市まちづくりアドバイザー, 京都市醍醐いきいき市民活動センター, 人づくり21世紀委員会伏見東支部, 一般財団法人 地域公共人材開発機構, NPO 法人 場とつながりラボ home's vi

(2) 平成28年度実績

ア 概要

講座には、参加者同士の交流を深める要素を取り入れたことで、まちづくり活動に関心の高い地域の方々のつながりづくりにも成果を挙げることができた。また、ボランティア活動に熱心な学生等の参加を得ることもでき、これら若者のまちづくりの実践活動への参加へとつなげることができた。

イ 実施状況

回	実施日	参加者数	講座内容
1	6月4日(土)	46名	まちづくりってそもそも何?! ~私がしたいこととまちをつなぐヒントを探るスタディツアー!~
2	7月2日(土)	25名	なぜまちづくりは妙に難しいのか??~迷子にならないまちづくりプロジェクトのはじめ方を探る!~
3	8月6日(土)	27名	どうしてみんな参加してくれないの?? ~私の活動の参加者が10倍に増える方法を探る!~
4	9月3日(土)	13名	あなたのまちづくりが失敗する理由?! ~目標を達成できるトライアンドエラーの方法を探る!~
5	11月5日(土)	6名	塾の終わりはまちづくりの始まり! ~あなたの第1歩を報告する!~
合計		117名	



講座での意見交換



活動報告会

(3) 平成29年度予定

平成26年度から3年間実施したおとなだご塾の取組を踏まえ、29年度は塾の参加者が醍醐地域でのまちづくり活動により積極的に参加できる仕組みづくりを行う。